

TOTO リモデルユニット施工説明書 (L052・53・54、LOE2)

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

1. 安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表示	意味
	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、障害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

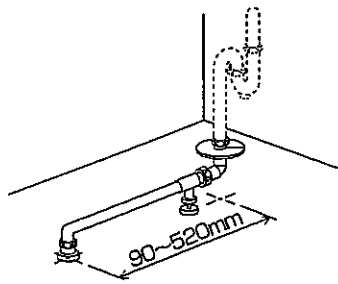
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
注 意	
	工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください。 (漏水を起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります)
	凍結のおそれがある地域では、必ず凍結工事を行ってください。 (凍結破損で漏水し家財などに損害を与えるおそれがあります)
	湯・水を逆に配管しないでください。 (水側でいきなり湯が出て、やけどをする原因になります)
	排水リモデルユニットの連結管切断後は、端部のバリ・汚れを完全に取り除いてください。 (漏水を起こすと、家財などに損害を与えるおそれがあります)

2. 完成図 ※図中の点線部の部品は同梱されておりません。

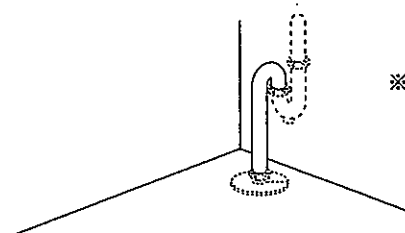
排水用リモデルユニット

◆排水用リモデルユニット (L052)



※既設の排水管位置を変更することなく、連結管 (L=520mm) を用いて水栓と接続することができます

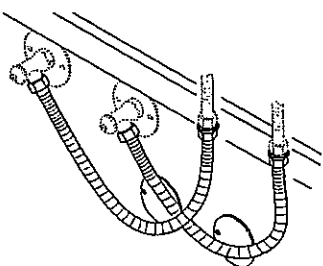
◆床排水管 (LOE2)



※TOTO洗面化粧台オーバーシリーズのときに使用します。

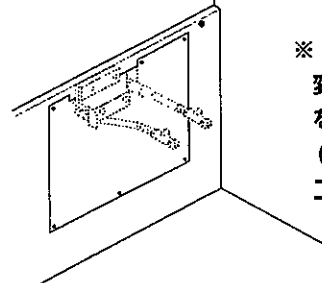
給水用リモデルユニット

◆連結管セット (L053)



※既設の止水栓位置を変更することなく、連結管 (L=300mm) を用いて水栓と接続することができます。

◆化粧板セット (L054)

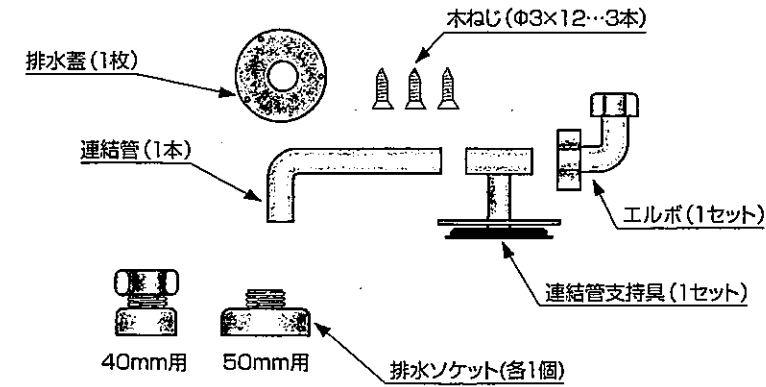


※既設の止水栓位置を変更した後に化粧台を設置できます。
(化粧台内部で配管施工するのは困難です)

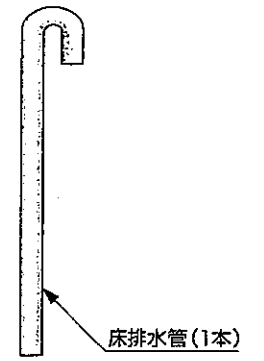
3. 梱包部品明細

排水用リモデルユニット

◆排水用リモデルユニット (L052) の部品明細

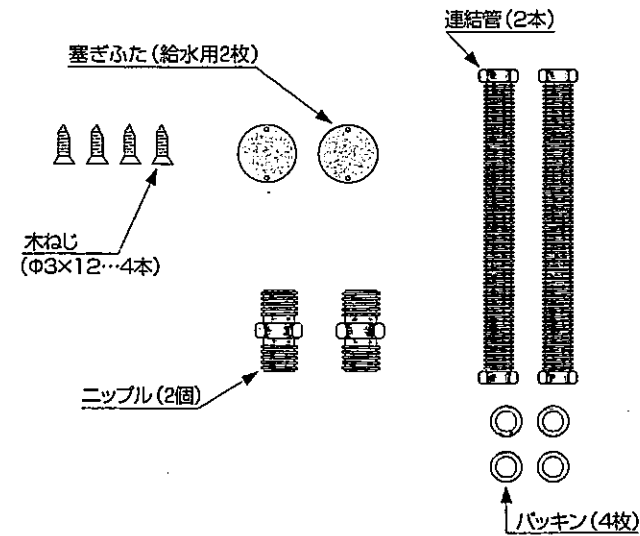


◆床排水管 (LOE2) の部品明細

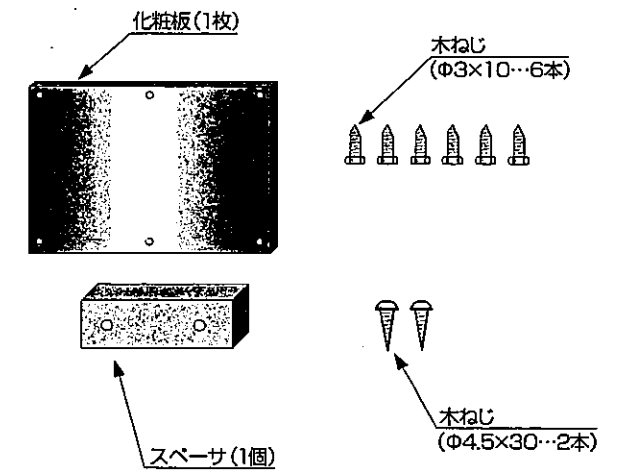


給水用リモデルユニット

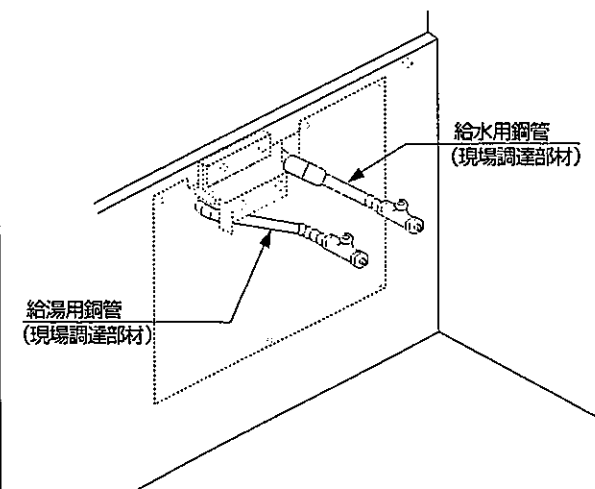
◆連結管セット (L053) の部品明細



◆化粧板セット (L054) の部品明細



※現場調達配管部材 (L054 使用の場合のみ)



<現場調達配管部材>

	部品名	数量	備考
給水用	ライニングエルボ	2個	
	ライニング六角ニップル	2個	
	ライニング銅管	1本	製品に合わせて寸法を設定してください
給湯用	銅管用エルボ	2個	
	銅管用オスねじアダプタ	2個	
	銅管	1本	製品に合わせて寸法を設定してください
	銅管	2本	L=25mm(連結用)
	断熱材	1個	L=300mm(16mm用)

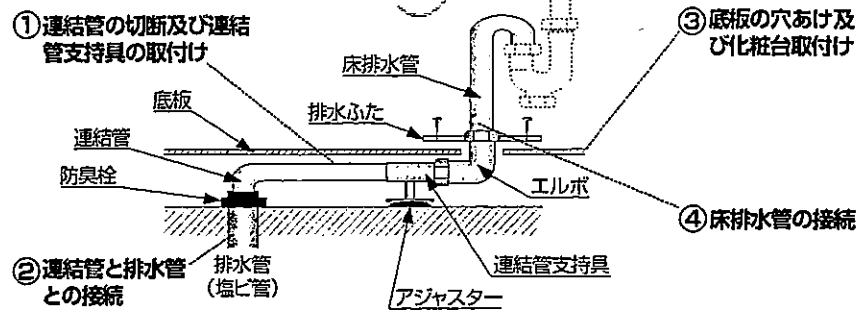
4. 施工手順

排水用リモデルユニット (L052)

右図の番号順に施工してください。

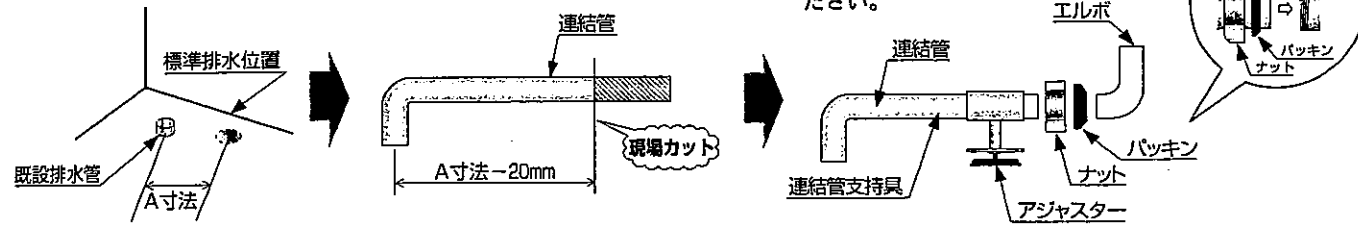
<施工上の注意>

- ナットは手で確実に締め付けてください。
※工具は使用しないでください。
- 排水ふたは現場に合わせてカットしてご使用ください。



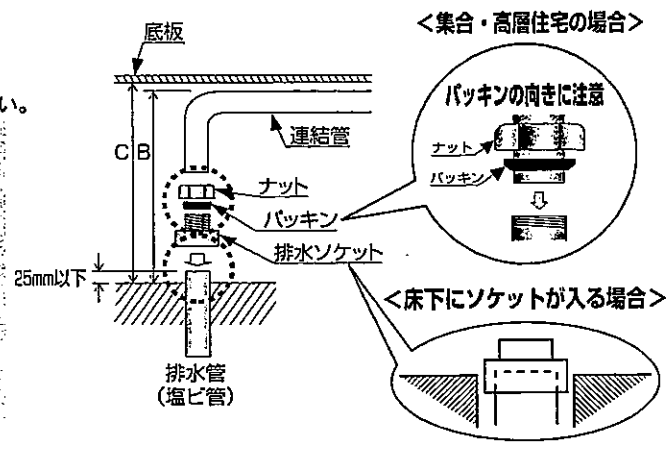
① 連結管の切断及び連結管支持具の取付け

- 化粧台を仮置きして、標準排水位置から既設排水管までのA寸法を測定してください。
- 連結管を「A寸法-20mm」の長さで切断してください。
- 連結管支持具に連結管を挿入してエルボをナット、パッキンで接続してください。
※連結管支持具はエルボ側に寄せてください。



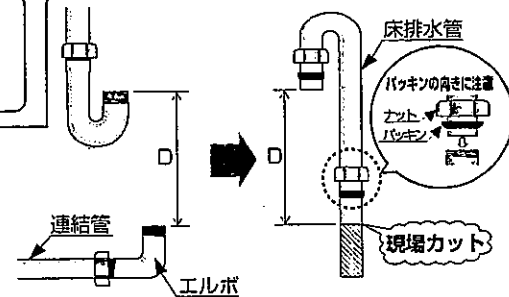
② 連結管と排水管との接続

- 排水口に防臭栓(化粧台同梱品)または排水ソケットを仮固定して、連結管を接続してください。
- 化粧台を仮置きして、連結管と化粧台が干渉していないか確認してください。
※連結管が逆勾配にならないように、連結管支持具のアジャスターを調整してください。
※床面から連結管上部までのB寸法が、化粧台底版と床面の隙間C寸法より小さくなるように、
①排水管の高さを床面から25mm以下に切断する
②連結管支持具のアジャスターを調整する、またはアジャスターを取り外す
※それでも連結管が化粧台底版と干渉する場合は、連結管支持具を外して逆勾配にならないように連結管の下に当て木をしてください。
③排水管まわりの床を削って、防臭栓または排水ソケットが床下に入るようにする。以上のことを現場で行い調整してください。
- 防臭栓または排水ソケットを本固定(接合)してください。



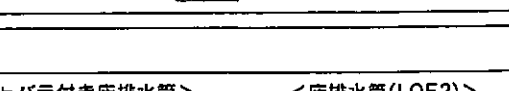
③ 底版の穴あけ及び化粧台取付け

- 化粧台の排水位置に合わせて底版に穴をあけ、化粧台を設置してください。(洗面化粧台の施工説明書を参照してください)



④ 床排水管の接続

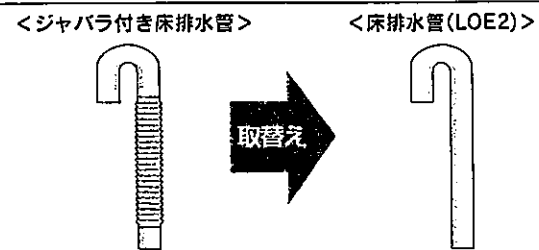
- 右図のD寸法を測定し、床排水管を図の斜線部分で切断して、床排水管とエルボをナットとパッキンで接続してください。
※各ナット部にゆるみがないか確認して、確実に締め付けてください。



床配水管ユニット (LOE2)

洗面化粧台が、TOTOオーバルシリーズ(LDE6□□、LDE7□□)のときにのみ使用します。

化粧台に付属されているジャバラ付きの床排水管は、ジャバラ径の違いにより排水用リモデルユニットでは使用できません。LOE2に付属の床排水管に取替えてご使用ください。



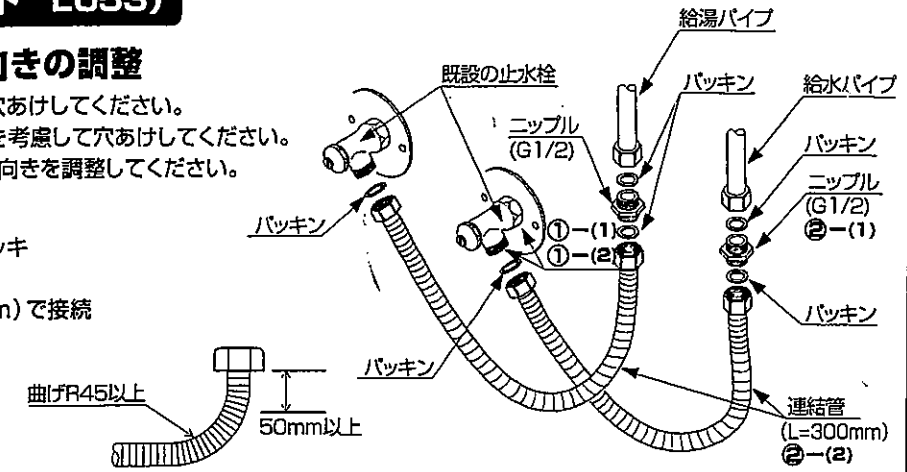
給水用リモデルユニット (連結管セット L053)

① 給水・給湯の穴あけ及び止水栓向きの調整

- (1)既設の給水・給湯位置に合わせて、化粧台裏板に穴あけしてください。
※壁給水で台輪をセットする場合、台輪の高さを考慮して穴あけしてください。
- (2)給水、給湯パイプを接続しやすいように、止水栓の向きを調整してください。

② 連結管・ニップルの取付け

- (1)水栓側の給水・給湯パイプに、同径のニップル、パッキンを取付けてください。
- (2)ニップル、パッキンと止水栓を連結管(L=300mm)で接続してください。
※ナットは、工具で確実に締め付けてください。
※連結管は無理に曲げないでください。
また、接続箇所から50mm以上離れた位置から曲げ始めてください。



③ 蓋ふたの取付け

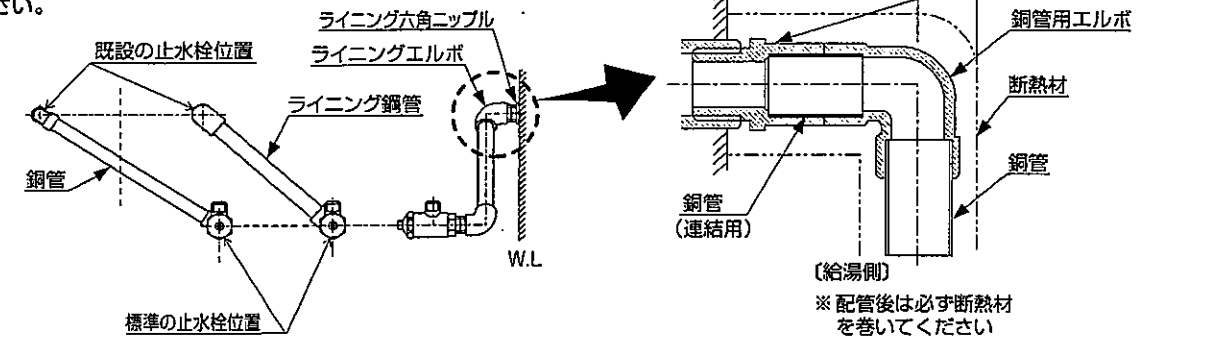
- 洗面化粧台にあらかじめ給水・給湯穴が開いている場合は、付属の蓋ふたを取付けてカバーしてください。

※既設の止水栓をそのまま使用の場合は、フランジ表面に固着したパッキンの残りをカッター等で完全に取り除いた後に新しいパッキンと交換してナットを取付けてください。

給水用リモデルユニット (化粧板セット L054)

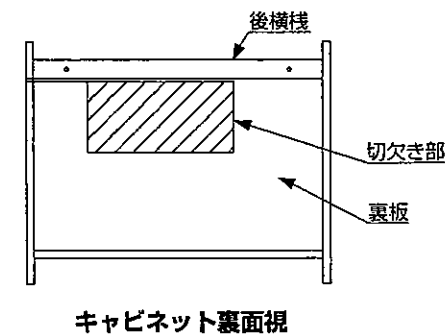
① 給水・給湯配管

- 現場調達材を下図のように配管してください。
※洗面化粧台の施工説明書を参考にして、標準止水栓位置になるように配管してください。



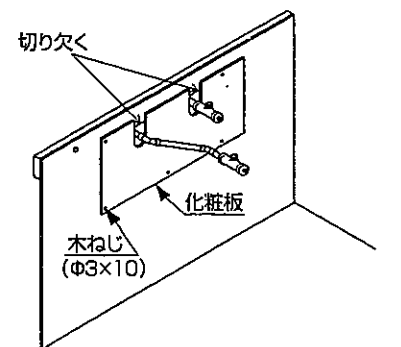
② 給水・給湯の穴あけ

- 給水・給湯配管とキャビネットの干渉する部分を、キャビネットの裏側より裏板を切り欠いてください。



③ 化粧台の取付け及び化粧板の取付け

- (1)化粧台を設置してください。
※洗面化粧台の施工説明書を参照してください。
- (2)化粧板を図のように配管部分を切り欠いて、付属のねじ(φ3×L10)で取り付けてください。



※配管が水受けトレイと干渉する場合

化粧台がジャンプタイプの場合、配管の状況により給水・給湯配管が水受けトレイと干渉するおそれがあります。このような場合は、トレイ取付け具裏側のリブを削るなどしてください。

《システムJの場合》

洗面化粧台がシステムJシリーズの場合、付属のスペーサーと一緒に水受けトレイを取付けてください。水受けトレイを手前に出すことができます。

